事務事業チェックシート

事務事業No　232　　事業名　**既存産業の成長促進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	1	製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	商工総務費		
	大事業	商工総務事業		
	中事業	既存産業の成長促進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	産業政策課	吉村　智史	435-1040
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市内事業者の競争力強化を促進し、本市経済の活性化を図る。	既存産業の持続的な成長を図るため、市内事業者の競争力を強化するための支援を行う。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	・生産性向上を目的としたデジタルツールの導入にかかる費用を支援（導入経費） ・展示会開催（DX推進による生産性向上セミナー同時開催）	生産性向上を目的としたデジタルツールの導入にかかる費用を支援（導入経費） ・展示会開催（DX推進による生産性向上セミナー同時開催）	生産性向上を目的としたデジタルツールの導入にかかる費用を支援（導入経費） ・展示会開催（DX推進による生産性向上セミナー同時開催）	生産性向上を目的としたデジタルツールの導入にかかる費用を支援（導入経費） ・展示会開催（DX推進による生産性向上セミナー同時開催）	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		3,029	2,821	3,025	3,023	3,023	2,973	3,023	0	0	0
伸び率（%）		1%	137.1%	△0.1%	7.2%	△0.1%	△1.7%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	18,078	18,078	16,610	11,464	12,657	13,055	12,657	0	0	0
	正規職員以外	863	432	431	431	482	507	0	0	0	0
	小計	18,941	18,510	17,041	11,895	13,139	13,562	12,657	0	0	0
国庫支出金		1,514	1,095	1,512	1,511	1,511	1,486	1,511	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		1,515	1,726	1,513	1,512	1,512	1,487	1,512	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	2.32	2.32	2.13	1.47	1.59	1.64	1.59	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.38	0.19	0.19	0.19	0.19	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		負担金、補助及び交付金3,000千円 会場その他借上料23千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	セミナー回数	回	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
	展示会参加人数	人	目標値	30	50	50	50	
			実績値	62	71	59		
			達成度(%)	206%	142%	118%	%	%
成果指標	セミナー参加人数	人	目標値	20	20	20	20	
			実績値	23	15	24		
			達成度(%)	115%	75%	120%	%	%
	補助金交付件数	件	目標値	6	6	6	6	
			実績値	6	6	8		
			達成度(%)	100%	100%	133%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	展示会の開催に係る成果目標については達成しているものの、令和６年度と比較して来場者数は減少しているため改善が必要。本市におけるデジタル化の取組が事業者に十分に浸透していない現状を踏まえ、令和８年度以降も継続的に実施する。
見直し・改善内容	共催事業者である金融機関の協力により、同機関の社員が講師を務める形でDX関連のセミナーを実施してきたが、特定の商品の紹介が中心となる等、内容に偏りが生じていた。そのため来年度以降は、支援団体とも連携し、外部の専門家や先進的な企業を講師として招くことで、最新のDX動向や先進的な取組を紹介するセミナーを実施するよう調整を図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

555　**販路開拓支援事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	1	製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	新産業育成費		
	大事業	新産業育成事業費		
	中事業	販路開拓支援事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	内畑　圭司	435-1233
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	本市中小企業が新たな販路を開拓し発展を図る。	市内中小企業の活力ある発展を図るため、自社製品の販路拡大及び市場拡大を支援する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市内中小企業者の県外展示会等への出展にかかる経費の一部を補助する。また、市内中小企業者が参加する展示会の開催にかかる経費の一部を補助する。	市内中小企業者の県外展示会等への出展にかかる経費の一部を補助する。また、市内中小企業者が参加する展示会の開催にかかる経費の一部を補助する。	市内中小企業者の県外展示会等への出展にかかる経費の一部を補助する。また、市内中小企業者が参加する展示会の開催にかかる経費の一部を補助する。	市内中小企業者の県外展示会等への出展にかかる経費の一部を補助する。また、市内中小企業者が参加する展示会の開催にかかる経費の一部を補助する。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		11,278	6,938	9,953	8,346	9,916	3,645	9,864	0	0	0
伸び率（%）		74.3%	161.7%	△11.7%	20.3%	△0.4%	△56.3%	△0.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,455	5,455	5,069	4,523	5,015	4,538	5,015	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5,455	5,455	5,069	4,523	5,015	4,538	5,015	0	0	0
国庫支出金		5,400	2,189	4,900	4,136	4,900	1,797	4,900	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		5,878	4,749	5,053	4,210	5,016	1,848	4,964	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.70	0.70	0.65	0.58	0.63	0.57	0.63	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		ビジネスチャンス創出支援事業補助金　7,800千円 展示会等開催支援事業補助金　2,000千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	補助金交付件数（ビジネスチャンス創出支援事業）	件	目標値	19	22	22	22	
			実績値	19	19	10		
			達成度(%)	100%	86%	45%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	販路・取引先拡大等効果があった事業者数（ビジネスチャンス創出支援事業）	者	目標値	19	22	22	22	
			実績値	15	14	10		
			達成度(%)	79%	63%	45%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	補助金の交付金額は前年比で減少しているものの、制度は事業者の利用を前提としているものであることから、より多くの事業者に制度を認知してもらえるよう、周知方法については、見直しを図る必要がある。また、過去に補助金を交付した中小企業からの実績報告においては、展示会に出展したことで新たな取引先の獲得につながった等、販路拡大に効果があったとの報告もあり、事業を継続し、中小企業の成長力強化と地場産業の振興を図る。
見直し・改善内容	過去に補助金を交付した事業者に対し、販路開拓状況について調査研究を行っている。今後も事業者からの声を踏まえ、補助メニューについてニーズに応じた予算配分とするなど、より効果的な補助制度となるよう見直しを図る。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

556　**共同作業場管理事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	1	製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	通商産業振興費		
	大事業	通商産業振興事業		
	中事業	共同作業場管理事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	内畑　圭司	435-1233
事業実施の根拠法令	和歌山市共同作業場条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	共同作業場の円滑な管理、運営を行う。	地域住民の雇用の場である共同作業場を円滑に管理、運営することにより、生活環境の改善、産業の振興等を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	市内７ヶ所ある共同作業場の管理、運営に必要な所々修繕料、火災保険料等を負担する。	市内７ヶ所ある共同作業場の管理、運営に必要な所々修繕料、火災保険料等を負担する。	市内７ヶ所ある共同作業場の管理、運営に必要な所々修繕料、火災保険料等を負担する。	市内７ヶ所ある共同作業場の管理、運営に必要な所々修繕料、火災保険料等を負担する。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		1,131	1,120	1,129	1,112	8,387	6,973	1,161	0	0	0
伸び率（%）		△88.2%	△88%	△0.2%	△0.7%	642.9%	527.1%	△86.2%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	5,455	5,455	5,069	6,317	7,005	4,538	7,005	0	0	0
	正規職員以外	500	500	510	0	522	0	0	0	0	0
	小計	5,955	5,955	5,579	6,317	7,527	4,538	7,005	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	5,800	4,500	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		1,131	1,120	1,129	1,112	2,587	2,473	1,161	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.70	0.70	0.65	0.81	0.88	0.57	0.88	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		所々修繕料840千円、火災保険料229千円、樹木等処分委託料87千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	共同作業場数	か所	目標値	7	7	7	7	
			実績値	7	7	7		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	稼動している共同作業場数	か所	目標値	7	7	7	7	
			実績値	6	6	6		
			達成度(%)	85.7%	85.7%	85.7%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	当該施設は同和構造改善事業の一事業として、地場産業の発展と地元住民の雇用促進のため建築された建物である。国策としての同和構造改善事業は平成１４年に終了し、予算面等において現状から充実させることは困難であるが、一方で、現在休止中の１施設を除き、利用中の施設については一定数の地元住民が雇用されており、地元経済の活性化に貢献している。そのため、今後も地元住民の雇用場所として当該施設の適切な管理を行う。
見直し・改善内容	現在未利用中の１施設につき、地元住民と協議し、活用方法を検討していく。また、施設の老朽化が進んでいるため、修繕を行うなど維持管理にもいっそう取り組んでいく。

事務事業チェックシート

事務事業No　675　　事業名　**産業活性化推進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	1	製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	商工総務費		
	大事業	商工総務事業		
	中事業	産業活性化推進事業		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市産業振興ビジョン		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	産業政策課	吉村　智史	435-1040
事業実施の根拠法令	和歌山市産業振興基本条例	関連課	全部局		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	産業振興施策を総合的に推進し、本市経済の活性化を図る。	産学金官の有識者からなる和歌山市産業戦略会議を開催し、必要な産業振興施策を検討、総合的に推進する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	・和歌山市産業振興アクションプランの進捗管理	・和歌山市産業戦略会議の開催 ・和歌山市産業振興アクションプランの進捗管理	・和歌山市産業戦略会議の開催 ・和歌山市産業振興アクションプランの進捗管理	・和歌山市産業戦略会議の開催 ・和歌山市産業振興アクションプランの進捗管理	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		697	614	703	624	989	609	0	0	0	0
伸び率（%）		9.4%	10.8%	0.9%	1.6%	40.7%	△2.4%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	2,884	2,884	4,367	7,643	8,438	8,677	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,884	2,884	4,367	7,643	8,438	8,677	0	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		697	614	703	624	989	609	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.37	0.37	0.56	0.98	1.06	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		手数料６２４千円、使用料及び賃借料６千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	和歌山市産業戦略会議の開催	回	目標値	1	1	4	0	
			実績値	0	0	0	0	
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	和歌山市産業振興アクションプランの策定、進捗管理	冊	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	本市の産業振興施策の方向性を明確にするため、「和歌山市産業振興ビジョン」を策定し、それに基づく事業を各部局で検討し、「産業振興アクションプラン」として取りまとめて進捗管理を図る事業である。 人口減少や少子高齢化などによって、まちの活力が低下していく恐れがある中で、本市の経済活性化は喫緊の課題であり、産業振興を総合的に取り組むための本事業を今後も推進していく必要がある。
見直し・改善内容	令和７年度末で終期を迎えた産業振興ビジョンについて、これまでの取組を総括するとともに、現在の本市を取り巻く社会情勢を踏まえて、今後の産業振興ビジョンのあり方について検討を進める。その際、第3期総合戦略や長期総合計画など産業振興に係る計画との整合性を図りながら検討する。

事務事業チェックシート

事務事業No　15010　　事業名　**経済動向調査分析事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	1	製造業の強みを次世代に引き継ぐための中核的企業の発掘と成長の促進

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業			
	中事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	産業政策課	吉村　智史	435-1040
事業実施の根拠法令		関連課	全部局		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	和歌山市内の景況・経済実態を迅速かつ正確に把握できるよう情報収集を行い、各課に配布するとともに、各行政施策を企画立案するための基礎資料として提供するもの。	1　和歌山市景況動向調査 和歌山社会経済研究所がアンケート方式で実施している景気動向調査から市内企業の回答を抽出し、判断指数としてＢＳＩ（ビジネス・サーベイ・インデックス）を用いて分析を行う。（年４回調査） 【調査項目】景況・業況・売上・収益・仕入価格・販売価格の動向・資金繰り・雇用等 2　和歌山市経済動向調査 様々な経済指標をもとに、本市経済の状況を把握するために作成する。 【調査項目】景気動向指数、鉱工業生産指数、住宅新設着工戸数、新車登録販売台数、公共工事請負額、消費者物価指数、企業倒産件数、百貨店・スーパー販売額、家計消費支出、総実労働時間・実質賃金指数

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	・和歌山市景況動向調査報告書及び経済動向調査報告書を作成し、行政施策の参考とするため関係各課に配布。また、市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 ・わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのＰＲ・情報提供を行う。	・経済動向調査報告書を作成し、行政施策の参考とするため関係各課に配布。また、市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 ・わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのＰＲ・情報提供を行う。	・経済動向調査報告書を作成し、行政施策の参考とするため関係各課に配布。また、市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 ・わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのＰＲ・情報提供を行う。	・経済動向調査報告書を作成し、行政施策の参考とするため関係各課に配布。また、市内事業所を訪問し、現状・課題の把握を行う。 ・わかやまし産業ファイルを作成し、市民・関係機関・視察者へのＰＲ・情報提供を行う。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		612	572	0	0	0	0	0	0	0	0
伸び率（%）		0%	△6.1%	△100%	△100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
人件費	正規職員	1,871	1,871	1,872	1,872	2,150	2,150	2,150	0	2,150	0
	正規職員以外	432	863	862	862	964	1,014	1,014	0	1,014	0
	小計	2,303	2,734	2,734	2,734	3,114	3,164	3,164	0	3,164	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		612	572	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.24	0.24	0.24	0.24	0.27	0.27	0.27	0.00	0.27	0.00
	正規職員以外	0.19	0.38	0.38	0.38	0.38	0.40	0.40	0.00	0.40	0.00
主な予算内訳		予算なし									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	景況動向調査報告書の作成	回	目標値	4	0	0		
			実績値	4	0	0		
			達成度(%)	100%	%	%	%	%
	和歌山市経済動向調査報告書の作成	回	目標値	4	4	4	4	
			実績値	4	4	4		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	景況動向調査報告書の通知回数	回	目標値	4	0	0		
			実績値	4	0	0		
			達成度(%)	100%	%	%	%	%
	和歌山市経済動向調査報告書の通知回数	回	目標値	4	4	4	4	
			実績値	4	4	4		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	和歌山市経済動向調査は、迅速に作成・配布することで各行政施策を企画立案するための基礎資料として有効に活用できる。
見直し・改善内容	引き続き、和歌山社会経済研究所の県全体データと和歌山財務事務所や県、和歌山商工会議所が実施している調査結果等を活用することで、コストをかけることなく、市内企業の景況感を把握する。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

180　**地場産業振興事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	2	歴史と伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	通商産業振興費		
	大事業	通商産業振興事業		
	中事業	地場産業振興事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	内畑　圭司	435-1233
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要
事業目的	本市の各工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで、本市地場産業の振興を図る。	本市の各工業団体が実施する需要開拓等の事業に要する経費の一部を補助することで、本市地場産業の振興を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。「和歌山市のものづくり」の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。「和歌山市のものづくり」の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。「和歌山市のものづくり」の管理に要する経費を負担する。	工業団体が行う各種展示会の開催や出展等の事業に要する経費の一部を補助する。「和歌山市のものづくり」の管理に要する経費を負担する。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		6,781	4,833	7,002	4,881	5,944	3,285	4,649	0	0	0
伸び率（%）		△7%	10.8%	3.3%	1%	△15.1%	△32.7%	△21.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	13,559	13,714	12,555	13,569	9,950	7,324	9,950	0	0	0
	正規職員以外	500	500	510	0	0	0	0	0	0	0
	小計	14,059	14,214	13,065	13,569	9,950	7,324	9,950	0	0	0
国庫支出金		60	59	10	9	59	43	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	300	300	0	13	0	0	0	0
一般財源（税等）		6,721	4,774	6,692	4,572	5,885	3,229	4,649	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	1.74	1.76	1.61	1.74	1.25	0.92	1.25	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		清掃委託料484千円、地場産業販路開拓等支援事業補助金2,600千円等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	工業団体が行う各種展示会開催・出展数	事業	目標値	8	8	7	7	
			実績値	5	5	5		
			達成度(%)	62.5%	62.5%	71.4%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	粗付加価値額（経済構造実態調査）	億円	目標値	6,223	6,285	6,347	6,412	
			実績値	5,856	6,720	7,014		
			達成度(%)	94.1%	106.9%	110.5%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	展示会の開催、出展等を実施した工業団体に対して補助を行うことで、国内外のバイヤーや一般消費者に対して新たな販路開拓や当市地場産業をＰＲすることができた。 展示会への出展を継続することで、当市企業や製品の認知度向上が期待され販路拡大にも繋がることから、今後も販路開拓や人材育成の分野についても支援が必要である。
見直し・改善内容	引き続き国内外での展示会や出展を行い、販路開拓を図るとともに和歌山ブランドの育成にも寄与する。 今後、より効果的な販路開拓を図ることができる展示会への出展やその支援方法についても検討していく。 また、人材育成には時間を要するため中長期にわたり支援を行っていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

1115　**高付加価値推進事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	2	歴史と伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	通商産業振興費		
	大事業	通商産業振興事業		
	中事業	高付加価値推進事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	内畑　圭司	435-1233
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	各種見本市、展示会等に参加し、本市主要物産品の優秀性のＰＲ及び販路拡張に努め、地域産業の活性化を図る。	各種見本市、展示会等に参加し、本市主要物産品の優秀性のＰＲ及び販路拡張に努め、地域産業の活性化を図る。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	（一財）伝統的工芸品産業振興協会が実施する事業に要する経費を負担する。 伝統的工芸品全国大会への参加及び出展に要する経費の一部を補助する。 紀州桐箪笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し補助金を交付	（一財）伝統的工芸品産業振興協会が実施する事業に要する経費を負担する。 伝統的工芸品全国大会への参加及び出展に要する経費の一部を補助する。 紀州桐箪笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し補助金を交付	（一財）伝統的工芸品産業振興協会が実施する事業に要する経費を負担する。 伝統的工芸品全国大会への参加及び出展に要する経費の一部を補助する。 紀州桐箪笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し補助金を交付	（一財）伝統的工芸品産業振興協会が実施する事業に要する経費を負担する。 伝統的工芸品全国大会への参加及び出展に要する経費の一部を補助する。 紀州桐箪笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し補助金を交付	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		883	194	845	814	841	811	845	0	0	0
伸び率（%）		0%	△78%	△4.3%	319.6%	△0.5%	△0.4%	0.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	6,312	6,390	5,849	5,381	3,980	4,538	3,980	0	0	0
	正規職員以外	500	500	510	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,812	6,890	6,359	5,381	3,980	4,538	3,980	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		883	194	845	814	841	811	845	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.81	0.82	0.75	0.69	0.50	0.57	0.50	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		管外出張旅費39千円、伝統的工芸品産業振興協会事業負担金526千円等									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	各種展示会開催・出展数	事業	目標値	4	4	4	4	
			実績値	1	2	2		
			達成度(%)	25%	50%	50%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	粗付加価値額（経済構造実態調査）	億円	目標値	6,223	6,285	6,347	6,412	
			実績値	5,856	6,720	7,014		
			達成度(%)	94.1%	106.9%	110.5%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	各種展示会や見本市に出展することで、県内外の消費者やバイヤーに当市地場産品の優秀性をＰＲするとともに、今後も継続して出展し、引き続き付加価値を高めていく必要がある。
見直し・改善内容	引き続き付加価値を高めていくため、特に県外の展示会や新たな展示会への出展を促し、当市地場産品をＰＲし販路拡張に努めていく。 また、研修会を開催し後継者育成や人材育成を促していく。

事務事業チェックシート

事務事業No　　事業名

91　**魅力ある商店街づくり事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	商工業振興費		
	大事業	商工業振興事業		
	中事業	魅力ある商店街づくり事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	内畑　圭司	435-1233
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	商業振興のため	商業振興のため、商業団体等へ補助金を交付する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。	商業団体等が実施する商業振興事業に対し助成する。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		4,000	1,654	4,000	3,773	4,000	2,451	4,000	0	0	0
伸び率（%）		0%	△34.6%	0%	128.1%	0%	△35%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,728	2,728	2,496	5,381	3,980	4,538	3,980	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,728	2,728	2,496	5,381	3,980	4,538	3,980	0	0	0
国庫支出金		2,000	827	2,000	1,886	2,000	1,225	2,000	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）		2,000	827	2,000	1,887	2,000	1,226	2,000	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.35	0.35	0.32	0.69	0.50	0.57	0.50	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		商業活性化支援事業補助金　4,000千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	夜間における賑わいの創出が見込まれる事業への助成件数	件	目標値	7	7	7	7	
			実績値	3	7	7		
			達成度(%)	42%	100%	100%	%	%
	商業団体や個店が商店街魅力発信のために新たに実施する事業への助成件数	件	目標値	5	5	5	5	
			実績値	4	3	3		
			達成度(%)	80%	60%	60%	%	%
成果指標	空き店舗率　（空き店舗数／総店舗数）	%	目標値	20	20	20	20	
			実績値	18.6	18.1	18.1		
			達成度(%)	93%	91%	91%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	商店街への補助金交付により、コロナ禍で落ち込みつつあったまちなかの活気を取り戻し、賑わいの創出に寄与しており、今後も継続して支援していくことにより商店街の魅力向上を図ることができると考えられる。
見直し・改善内容	集客・販促支援事業に対する補助を平成29年度に廃止した。 平成３０年度にナイトタイムエコノミー振興事業に対する補助制度を創設した。 令和６年度にナイトタイムエコノミー振興事業のうち、けやき大通りイルミネーションと連携して実施する事業に対する上乗せ補助制度を創設した。 令和８年度よりウィンターエコノミー振興事業として、冬季の賑わい創出に資する事業を新たに補助対象者の範囲を拡充する。

事務事業チェックシート

事務事業No　215　　事業名　**業務指導事務**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	卸売市場事業特別会計		
	款	卸売市場費		
	項	卸売市場費		
	目	卸売市場費		
	大事業	卸売市場事業		
	中事業	業務指導事務		

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市中央卸売市場戦略的行動計画		
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	中央卸売市場	児玉崇文	431-3161
事業実施の根拠法令	卸売市場法・和歌山市中央卸売市場業務条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	卸売市場法、和歌山市中央卸売市場業務条例等に基づき中央卸売市場の適正かつ効果的な業務運営を行うための検査及び指導監督を行う。	中央卸売市場業務指導に要する経費

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	業務指導	業務指導	業務指導	業務指導	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		15,883	14,298	10,891	8,921	16,934	16,967	10,454	0	0	0
伸び率（%）		△22.1%	△21.4%	△31.4%	△37.6%	55.5%	90.2%	△38.3%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	34,675	29,844	31,972	32,284	32,955	34,626	32,318	0	0	0
	正規職員以外	8,631	13,927	4,330	4,330	4,842	6,059	7,098	0	0	0
	小計	43,306	43,771	36,302	36,614	37,797	40,685	39,416	0	0	0
国庫支出金		300	0	600	300	210	160	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		400	0	400	400	300	368	0	0	0	0
そ の 他		13,585	10,389	6,624	5,596	15,573	15,424	11,716	0	0	0
一般財源（税等）		1,598	3,909	3,267	2,625	851	1,015	△1,262	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	4.45	3.83	4.10	4.14	4.14	4.35	4.06	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	2.77	3.83	1.91	1.91	1.91	2.39	2.80	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		令和７年度当初予算　業務委託料　８，０５０千円　機械等借上料　５，７７７千円　財務監査委託料　１，８４８千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	業務検査(卸売業者3社）及び財務検査（卸売業者３社、仲卸業者１０社）	件	目標値	16	16	16	16	16
			実績値	16	16	16		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	青果取扱量	トン	目標値	74,000	74,000	74,000	74,000	74000
			実績値	41,604	38,771	38,767		
			達成度(%)	56.2%	52.4%	52.4%	%	%
	水産取扱量	トン	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20000
			実績値	11,209	10,212	9,799		
			達成度(%)	56.0%	51.1%	49.0%	%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	中央卸売市場は開設以来５０年余りが経過し、再整備を進めているところである。市場を取り巻く流通環境が大きく変化するなかで、青果・水産ともに取扱量は減少傾向にあるため、今後、本市場全体の体質強化を図る必要がある。
見直し・改善内容	平成２３年度に市場の現状と課題を再確認し施設整備を含めた「経営展望書」を策定。（中央卸売市場経営展望策定事業） 平成２４年度に課題の克服に向けた「行動計画書」を策定。（戦略的行動計画策定事業） 今後の卸売市場は、食品等の流通の合理化及び適正化に関する法律に基づき農林水産大臣から認定を受けた食品等流通合理計画にそって、その機能及び役割を更に充実させる必要があるため、流通に関する分析・研究を重ね、本市場の活性化に向けて取り組んで行く。

事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
230	**施設管理事務**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	卸売市場事業特別会計		
	款	卸売市場費		
	項	卸売市場費		
	目	卸売市場費		
	大事業	卸売市場事業		
	中事業	施設管理事務		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	中央卸売市場	児玉崇文	431-3161
事業実施の根拠法令	卸売市場法・和歌山市中央卸売市場業務条例	関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	市場の施設維持及び管理に要する諸経費	中央卸売市場施設維持管理に要する経費

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	施設の維持管理	施設の維持管理	施設の維持管理	施設の維持管理	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		389,206	315,562	319,287	288,016	328,993	311,011	363,243	0	363,243	0
伸び率（%）		35.9%	4.8%	△18%	△8.7%	3%	8%	10.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	33,428	28,753	30,881	31,115	31,761	33,432	31,204	0	31,761	0
	正規職員以外	4,334	4,334	4,330	4,330	1,826	2,586	3,042	0	1,826	0
	小計	37,762	33,087	35,211	35,445	33,587	36,018	34,246	0	33,587	0
国庫支出金		0	0	80	0	688	523	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		600	0	700	0	1,000	1,199	0	0	0	0
そ の 他		270,164	212,923	222,789	0	228,676	215,597	280,124	0	280,124	0
一般財源（税等）		118,442	102,639	95,718	288,016	98,629	93,692	83,119	0	83,119	0
所要人数（人）	正規職員	4.29	3.69	3.96	3.99	3.99	4.20	3.92	0.00	3.99	0.00
	正規職員以外	1.91	1.91	1.91	1.91	0.72	1.02	1.20	0.00	0.72	0.00
主な予算内訳		令和７年度当初予算　光熱水費　１４７，２０４千円、　管理委託料　１２１，１９９千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	督促・催告状の発送件数	件	目標値	40	40	20	20	20
			実績値	97	108	22		
			達成度(%)	242%	270%	110%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	施設使用料等（現年度）の収納率	%	目標値	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
			実績値	99.9	99.9	99.5		
			達成度(%)	100.4%	100.4%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○	見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性				

担当課評価の根拠	施設の維持管理に努めると共に、使用料等の徴収の強化に取り組む。
見直し・改善内容	現在、再整備中であるため、旧施設と新施設が混在しており、維持管理が複雑化している。また、世界的な燃料費高騰の影響で光熱費が増加している。再整備完了を目途に適切な維持管理方法を検討するとともに、受益者負担について見直しを進める。

事務事業チェックシート

事務事業No　299　　事業名　**商業団体育成事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	商工費		
	目	商工業振興費		
	大事業	商工業振興事業		
	中事業	商業団体育成事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	商工振興課	内畑　圭司	435-1233
事業実施の根拠法令		関連課			

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	商業振興のため	商業振興のため、商業団体が実施する事業に対し補助金を交付する。

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	商業団体が実施する調査研修事業に対し支援する。	商業団体が実施する調査研修事業に対し支援する。	商業団体が実施する調査研修事業に対し支援する。	商業団体が実施する調査研修事業に対し支援する。	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		7,277	6,981	7,277	7,017	7,277	6,956	7,277	0	0	0
伸び率（%）		0%	1.8%	0%	0.5%	0%	△0.9%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,728	2,728	2,496	2,730	3,025	2,707	3,025	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,728	2,728	2,496	2,730	3,025	2,707	3,025	0	0	0
国庫支出金		2,610	2,610	2,610	2,610	2,610	2,610	2,610	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	33	0	38	0	0	0	0
一般財源（税等）		4,667	4,371	4,667	4,374	4,667	4,308	4,667	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	0.35	0.35	0.32	0.35	0.38	0.34	0.38	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		商工業振興補助金　299千円、中小企業振興事業補助金　1,652千円、商工会議所女性会補助金　106千円、商工まつり補助金　5,220千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	補助団体件数	件	目標値	6	6	6	6	
			実績値	6	6	6		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	研修参加人数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	
			実績値	569	688	650		
			達成度(%)	56.9%	68.8%	65.0%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）	○	達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	地域住民のニーズを捉えた地域密着型の商業形態を目指し、商業団体が情報収集や研鑽に努める事業を継続的に支援する必要がある。
見直し・改善内容	創業者向けの各種セミナーや相談会の開催に対し補助することにより、事業者や創業者等の育成につなげていく。

事務事業チェックシート

事務事業No　369　　事業名　**施設整備事業**

［長期総合計画］

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政　策	1	地域を支える既存産業の振興
施　策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	3	地域の生活を支えるサービス産業の生産性向上

［事業基本情報］

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	卸売市場事業特別会計		
	款	卸売市場費		
	項	卸売市場費		
	目	卸売市場費		
	大事業	卸売市場事業		
	中事業	施設整備事業		

事業種別	継続	関連個別計画	中央卸売市場整備計画（農林水産省）	
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	中央卸売市場	児玉崇文　431-3161
事業実施の根拠法令	卸売市場法・和歌山市中央卸売市場業務条例	関連課		

1　事業内容

	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	全体事業概要
事業目的	中央卸売市場の再整備を行う	中央卸売市場の再整備

事業内容	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	再整備事業	市場整備に係る建設工事 ・青果卸売場棟整備	市場整備に係る建設工事 ・青果卸売場棟整備	市場整備に係る建設工事 ・駐車場等整備	

2　事業コスト

事業費等（千円）		令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		令和09年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費		6,487	855,390	641,932	1,783,412	821,051	1,636,132	0	0	0	0
伸び率（%）		△93.8%	47.2%	9,795.7%	108.5%	27.9%	△8.3%	△100%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	38,259	32,883	35,325	35,559	36,298	38,208	35,661	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	38,259	32,883	35,325	35,559	36,298	38,208	35,661	0	0	0
国庫支出金		0	183,676	129,200	358,200	248,615	477,830	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		6,500	671,600	512,700	1,425,100	572,400	1,158,233	0	0	0	0
そ の 他		0	114	32	111	36	68	0	0	0	0
一般財源（税等）		△13	0	0	1	0	1	0	0	0	0
所要人数（人）	正規職員	4.91	4.22	4.53	4.56	4.56	4.80	4.48	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳		令和７年度当初予算　整備工事請負費　８２１，０５１千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
活動指標	再整備事業関連予算執行状況	千円	目標値	6,487	641,932	821,051	0	0
			実績値	855,390	1,783,412	1,636,132		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	再整備事業年度進捗状況	年	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している（90%以上）		おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				

コスト投入の方向性

担当課評価の根拠	現卸売市場の運営に支障がないよう整備工事を行うため、請負業者作成の仮設工事及び施工計画等を十分に確認したうえで場内業者との協議を密に行い、不十分である場合は直ちに是正を行う。
見直し・改善内容	健全な市場会計の維持のため事業費の縮減を図る。